

第六十二 回大磯西行祭献詠俳句（選者の部）

跡追ひの体力欲しや西行忌

鍵和田 柚子先生

やすらかに法虎堂あり西行忌

本井 英先生

西行の恋や音なく椿落つ

今村 妙子先生

春光の潮へまぎれて沢の水

山田 真砂年先生

第六十二回大磯西行祭献詠短歌（選者の部）

街空の明るむもとへ帰るべし山の時雨に肩を濡らして

柳 宣宏先生

緑色のアンペルマンを思わせて猫が姿勢を正して過ぎる

今井 恵子先生

ゆるやかな起伏を向かうへ歩きゆく椋鳥六羽にんげんくさし

花山 多佳子先生